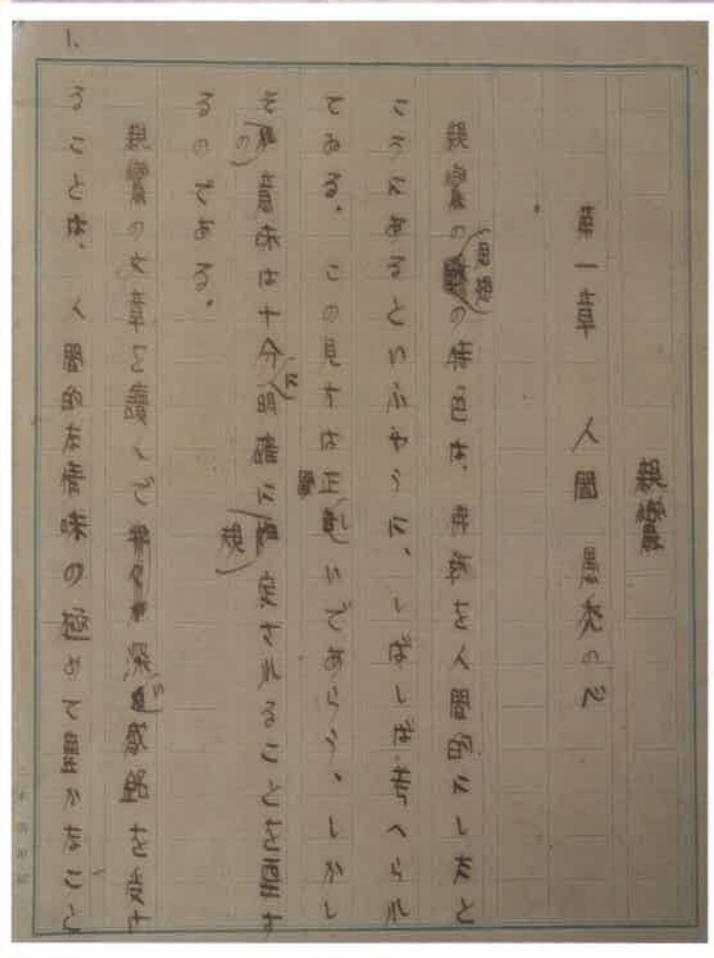


この研究資料集成では、現行の『三木清全集』に未収録の諸著作、対談・座談記事および原稿と、三木と同時代の論評・証言をできるだけきり収録することを目指した。

現在、再評価の機運が高まる、思想家三木の実像が、今、この貴重な資料から浮かび上がる。



第1巻 遺稿「親鸞」 三木の直筆原稿

三木清研究資料集成 全6巻

津田雅夫編 室井美千博・宮島光志編・解説

クレス出版

三木清研究資料集成 全6巻

津田 雅夫 編 室井 美千博・宮島 光志 編・解説

- 第1巻 三木清全集未収録論文・随筆 定価 20,000円 ISBN 978-4-87733-962-3
- 第2巻 翻訳家としての三木清—翻訳作品集 定価 14,000円 ISBN 978-4-87733-963-0
- 第3巻 論壇での軌跡—座談・対談(1) 定価 23,000円 ISBN 978-4-87733-964-7
- 第4巻 論壇での軌跡—座談・対談(2)・講演 定価 22,000円 ISBN 978-4-87733-965-4
- 第5巻 思想家・評論家としての三木清—時代との格闘 定価 18,000円 ISBN 978-4-87733-966-1
- 第6巻 三木清の人と思想—回想・記録 定価 16,000円 ISBN 978-4-87733-967-8

A5判/上製函入/クロス装/2018年10月25日刊行

揃定価 113,000円 ISBN 978-4-87733-968-5 C3310(セット) ※すべて税別

クレス出版 好評既刊書 (定価はすべて税別)

江戸末期～終戦までの激動期、それぞれの分野で「名」を上げた巨人たちの足跡を通して、三木清という稀代の論客が生きた「時代」そのものを実感し、彼らの思想との対比を進めるには最適の研究資料集。

難解な「西田哲学」を理解するための良質な手引書

西田幾多郎研究資料集成 全9巻

パンセ専売
0120-518-521

小坂 国継 編・解説

揃定価 95,000円 ISBN 978-4-87733-707-0 (セット)

西田幾多郎
研究資料集成



身近な人々の追想、回想により、鑑三の精神、思想を立体的にとらえる

内村鑑三研究資料集成 全9巻

パンセ専売
0120-518-521

鈴木 範久 編・解説

揃定価 92,000円 ISBN 978-4-87733-914-2 (セット)



内村鑑三研究
資料集成

日本主義、日蓮主義、ロマン主義、文豪、その激しい思想の変遷を解明する

高山樗牛研究資料集成 全9巻

花澤 哲文 編・解説

揃定価 92,000円 ISBN 978-4-87733-837-4 (セット)

高山樗牛
研究資料集成



三木清研究資料集成の刊行にあたって

岐阜大学名誉教授 津田 雅夫
三木清研究会事務局長 室井美千博
富山大学大学院教授 宮島 光志

今般、クレス出版より『三木清研究資料集成』を刊行するにあたり、まずその内容について検討し、以下のような基本方針の下に作業を続けてきました。
一 現行の『三木清全集』に収録されていない三木清の諸著作は、「親鸞」原稿以外は収録しない。
二 『全集』に収録されていない論文・随筆・書信、翻訳、対談、座談はできる限り収録する。
三 三木清の哲学・思想についての論考・資料は、三木の生きた時期のものを収録する。
四 思想的回顧を含めて、三木清についての回想は、没後まもなくのもののみとする。
その結果、全6巻の構成で刊行することになりました。

今、こうした形で三木清の研究資料集成を刊行することの意義が改めて問われています。まさに時代は再び、三木の強調した「不安の時代」の到来が語られる状況になっています。既存の歴史観が崩壊し、道筋の見えない状況が出現しつつあります。
「不定なもの」が社会を支配しています。それゆえ単に分析や統計だけでは見えてこない部分を明らかにすることが求められます。このような時こそ、三木の言う「構想力」の働きが、その解明のための鍵となるのではないのでしょうか。

三木清は戦前、大陸進出が不気味な拡大を続けるなか、その『現実』を明らかにする働きを「構想力の論理」のうちに求めようとしてきました。現実の動きを探る論理が問われています。三木はその時代の要求に応えようと、必死に思索を展開しようとしてきました。
その探求は不幸にも未完のままに終わりましたが、今日、鋭いアクチュアリティをもつて迫ってきます。改めて三木清を読む意義は増していると考え、三木清の思索世界へのより広い知見とより深い理解に資することを期して、ここにこの研究資料集成を刊行いたします。
二〇一八年 八月

三木清研究資料集成 目次

(※ 収録内容詳細は抜粋)

第1巻 三木清全集未収録論文・随筆

- 論文・小説・戯曲・随筆
勝利者(劇)／宿命児(小説)／マルクス主義と文芸
運命に就いての考察／仏教と現代思想／戦争と文化
世界文化の苦悶と教育／婦人の教養／往信復信／横光利一様
《新生活問答・男性から女性へ》正しい操縦法―道徳的向上を技術的に―／東亜新秩序の歴史哲学的考察
書評・読書
沙翁に学ぶもの
アンケート回答・通信
実現した三木三眼目(松田文相に与ふる公開状に対する反響)
推薦の辞
清新流刺なフランス現代小説(フランス現代小説 推薦の辞)
人間の面白さ(三葉亭四迷全集 推薦の辞)
参考文献
親鸞原稿
書信
西田幾多郎宛／野田宇太郎宛／谷川徹三宛 他

第2巻 翻訳家としての三木清―翻訳作品集

- エルンスト・トレルチ著「歴史的事象評価の標準に就て」
ヘルマン・コーヘン著「純粹認識の論理学」
マックス・シェーラー著「哲学の本質並びに哲学的認識の道徳的制約について」
マルクス・エンゲルス著「ドイツ・イデオロギー」
他 8本

第3巻 論壇での軌跡―座談・対談(1)

- 座談・対談(一九三九年七月まで)
西田博士に聴く座談会「哲学と宗教と文化の結び付に就て」
座談会「自由主義検討座談会」
座談会「社会学座談会―「集団社会学原理」批判と満州問題」
合評会「一九三五年の政治・思想の主流的動向」
座談会「良国民となるために大国民となるために」
座談会「新しき世代の家庭教育を語る」
西田幾多郎との対談「人生及び人生哲学」

第4巻 論壇での軌跡―座談・対談(2)・講演

- 座談・対談(一九三九年八月以降)
座談会「国内の現実を打開せよ」／座談会「戦争・政治・文化」
橋田文相との対談「文政革新の方向について」
座談会「新政治体制の確立を要請す」
座談会「新党運動の国民的基礎」
鼎談「満州国」／デュルクハイムとの対談「外から見た日本」／小林秀雄との対談「実験的精神」／高坂正顯との対談「民族の哲学」／座談会「学生は如何に生くべきか」／座談会「知識人の立場」
他 29本

第5巻 思想家・評論家としての三木清―時代との格闘

- 講演
講演「マルキシズムは観念論たり得ず」
招待講演「経済学と唯物弁証法」
他 5本
■ 講演
講演「マルキシズムは観念論たり得ず」
招待講演「経済学と唯物弁証法」
他 5本
■ 講演
講演「マルキシズムは観念論たり得ず」
招待講演「経済学と唯物弁証法」
他 5本

第6巻 三木清の人と思想―回想・記録

- 「遺稿・親鸞」論
谷川徹三「三木清の「遺稿」／服部之總「三木清と「親鸞」」
回想
波多野精一「三木清君について」／小林 勇「孤独のひと」
羽仁五郎「わが師・わが兄三木清」／久野 収「足跡」
坂田徳男「三木清君への回想」／三木洋子「父の思ひ出から」
三木 繁「三木清の哲学についての考察(仮題)」
他 48本
■ 記録
「満州国教科書の監修に石原、三木両氏渡満」／「三木清訃報」
他 15本

第1巻 【戯曲】「勝利者」(直筆)

勝利者 (菅原野上場)
場所 瀬戸内海海岸の某海水浴場 左
中には洋風の赤塗の旅館 横いて日
本式の旅館二三軒 水店 玉突場
等海濱に沿って並ぶ。右半は一條の
河川海に入り、それに懸れる椿見や
・沖には火三つ四つ。

第1巻 【小説】「宿命児」(直筆)

宿命児(三木)
良吉はその頃から自分の果敢ない運命を
みじみと心に感じ初めた。そして「それは彼
の心で著しくなげやりの」息を增長せしめた
のであった。
「宿命に弄れる兒、彼は或る時こういふ言葉を
言ひ出して悲しんだ。彼の生活がうは活潑で

第1巻 【小説】「宿命児」(直筆)

三木 清論



戸 坂 潤

第5巻 戸坂潤「三木清論」

三木清は明治末の文壇にあって、第一流の
思想家としての地位を占めた。その思想の
中心は、マルクス主義の唯物弁証法に在り
て、その基盤の上に、独自の発展を遂げた。
その思想の中心は、マルクス主義の唯物弁
証法に在りて、その基盤の上に、独自の発
展を遂げた。その思想の中心は、マルクス
主義の唯物弁証法に在りて、その基盤の上
に、独自の発展を遂げた。

尾崎・戸坂・三木
死とその前後

松 本 慎 一

第6巻 松本慎一「尾崎・戸坂・三木死とその前後」

尾崎・戸坂・三木の死は、明治文壇の
一大事である。その前後の経緯を、松本
慎一は、鋭い眼差しで、詳細に記述した。
その前後の経緯を、松本慎一は、鋭い眼
差しで、詳細に記述した。その前後の経緯
を、松本慎一は、鋭い眼差しで、詳細に
記述した。

第4巻 【座談会】「青年学生に待望す」



三木清は、青年学生に待望す。その
待望の内容は、三木清の思想の中心を
示している。その待望の内容は、三木清の
思想の中心を示している。その待望の内
容は、三木清の思想の中心を示してい
る。

第6巻 松本慎一「尾崎・戸坂・三木死とその前後」